

街路樹の点検項目と判断の指標

緊急度		I	II	III	IV
倒伏の危険度	被害の程度	無～小	中	大	大
	倒伏の危険度	無	低	中	高
	活力点検 (葉の状態、先端枝の枯れ、枯死・著しい衰弱)	右記以外	異常が明らかに認められる	ほぼ枯死している状態だが、揺れはなく、今すぐ倒伏する状態ではない 生育状況が劣悪で回復の見込みが低い	ほぼ枯死している状態であり、いつ倒伏するか分からない(緊急性大)
	キノコの有無	右記以外	わずかにキノコの発生が見られる	右記以外のキノコの発生が明らかに認められる	ベッコウタケ、コフキタケ発生
	開口空洞	右記以外	芯未達1/5以上 芯達あり	芯未達1/3以上 芯達1/3以上だが被害進行なし、回復傾向	芯達1/3以上 被害進行中
	樹皮枯死・欠損・腐朽	外傷等小規模で進行の恐れがない	範囲1/3以下	範囲1/3以上	
	病害虫 (がん腫・胴枯れ、穿孔虫等)	軽微で処置不要な被害	病虫害あり	病虫害(大)	
	根の被害	軽微で処置不要な被害	露出根切断、腐朽(小)、表面枯死	露出根断面の腐朽 露出根全面枯死	
	揺れ	右記以外	わずかな揺動	根元から揺れる	根元から全体が大きく動く揺れ 地際と土の間に隙間ができるような揺れ
	不自然な傾斜	右記以外	小 (傾き 10 度程度以下で進行の恐れあり、または、傾き 10 度程度以上で安定した状態)	大 (傾き 10 度程度以上・進行の恐れ、支柱対応可)	大 (傾き 10 度程度以上・不安定な状態、支柱対応不可)
	幹の打診	右記以外	空洞が疑われる (必要に応じて詳細点検)	打診異常広範囲、異常音明瞭 (必要に応じて詳細点検)	打診異常広範囲、異常音明瞭 (明らかに早期伐採が必要)
	鋼棒貫入	右記以外	幹の太さの1/4未満 (必要に応じて詳細点検)	幹の太さの1/4以上突き刺さる (必要に応じて詳細点検)	鋼棒が中心まで突き刺さる 鋼棒で内部の広範囲の腐朽が推測される
	通常管理	経過観察 (必要に応じて伐採、剪定等)	伐採	早期に伐採	